

子どもが、生きている今を、全身に、全気で、感じられるような、この世を。

PLAY FULL

プレイフル

一般社団法人プレーワーカーズ情報誌

こどものいのち



vol.9
2024年度

今すぐに全ての子どもに返さなければ

代表挨拶

今年も「PLAYFUL」を無事に発行することができました。

「PLAYFUL」を編集することはプレーワーカーズにとって高速度で過ぎていく一年を振り返る良い機会となっています。その「PLAYFUL」もvol.9となりました。これまで続けて来られたのも皆様のお支えがあったることと心より感謝申し上げます。これからどうぞよろしくお願いいたします。

「子どもが自由に遊べず、子どもが子ども社会をつくれずに育ったら一体どうなるのか、国を挙げての壮大な人体実験真つ最中のようだ。」と世田谷のプレーパークで私が思ってから三十年以上経ちました。当時子どもだった人たちは、もう大人になり親となり、今の子どもは孫世代ということです。

三十年経った最近の子どもに関するニュースでは、「最多」「最悪」「最低」といった言葉を見続けているような気がします。

この三十年余りの間に、みなさんご存じの通り数多くの自然災害が発生し、新型コロナウイルス感染症の脅威に見舞われました。またコンピュータ技術は大進歩、通信機器もスマホ等へと大変化。インターネットが強化されSNSは常識となりました。そして少子化が進行し、全人口に対して子どもが占める割合が大幅に減少。子どもは圧倒的少数派となり次第に町から居場所が無くなってきました。

ついに屋外で自由に遊ぶ子どもを

見ることは無くなりました。

子どもは生きる環境を自分で選択できませんから、与えられた環境に順応して生きるしかありません。そして、与えられた環境はみんな違います。暮らす町や学校、家族や周囲の人が違うのはもちろん、子どもそのものが一人一人違います。

子どもは外部の環境とその自身内部の環境その両方に順応しよう、手なづけようと努力して生きています。そうして自分では気がつかないくらいゆっくり育ちます。その育ちの中で大きな位置を占めていたのが「遊び」でした。

私はもう還暦ですが、五十年前の遊びの中でのエピソードがたくさんあります。「エピソード」は、経験とか学びという言葉に変えることもできます（他に喜び、楽しさ、悲しさ、後悔、痛み、興奮、冒険等に変えてもOK）。あの頃の遊びとそこにいた人々が無かったら、今の私は存在せず全く違う人間になっただろうと思います。

私たち子どもは遊びの中で育っていました。勉強できる子どもできない子ども、運動できる子どもできない子ども、ケンカつ早い子ども大人しい子ども、器用な子ども面白い子ども、自分勝手な子ども引つ込み思案な子ども、いろんな子がいる社会で生きていることを学びながら、まちがいなく育っていました。

しかし三十年以上前の時点ですでに「遊び」の衰退が見えていました。さらにこの三十年間でさらに悪化しています。その結果が「最多」「最悪」「最低」という言葉となりました。私たちが大人に訴えられています。

大人からの過管理、過干渉、そして攻撃されることが無い環境が保障された、自由な遊びの場と時間を、今すぐに全ての子どもに返さなければなりません。そして子どもが自由に闊歩できるまちにしなければなりません。

私たちプレーワーカーズは「子どもが遊び育つ社会をめざして」活動が続けます。ぜひご協力をお願いいたします。どうしたら悪化を続けるこの状況をひっくり返せるのか。三十年後の子どもに関するニュースにはどんな言葉が並んでいるでしょう。

令和五年（2023年）は自然災害について比較的平穏な年でした。私たちは「公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（以下SCJ）」と今後の災害発生時の子ども支援活動に向けて協定を結ぶ準備を始めていました。

ところが令和六年元旦、能登半島地震が発生。協定はまだ無いまま、急遽SCJのメンバーと石川・能登入りし現地の状況を調査、これからの活動に向けての調整を行いました。そしてたくさんの方々から活動のためのご寄付をいただきました。能登半島地震被災地での子ども支援活動については別冊の報告書をご覧ください。

代表理事 須永力



プレーワーカーとして35年超の実績がある。はじめに世田谷区駒沢はらっぱプレーパークにてプレーワーカーとして従事。阪神淡路大震災直後、神戸市長田区で子どもの遊び場づくりを行う。その後、静岡県富士山こどもの国、続いて仙台市海岸公園冒険広場（認定NPO法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク）で、開園準備から公園の基礎構築を担った。東日本大震災では「NPO法人日本冒険遊び場づくり協会」に所属し、被災地の子どもへの緊急支援活動を実施。復興への子どもより良い環境づくりを目指し、信頼する仲間と共に「一般社団法人プレーワーカーズ」を設立した。



2024年度の実績

みやぎプレーパーク114か所

2020年に決めた“114か所”という目標にはまだまだ到達できませんが、2024年度は、市民・行政どちらからも広がりを感じられた1年でした。
プレーワーカー養成講座をきっかけに「プレーパークを立ち上げたい！」という市民と繋がることができました。現地見を共にし、プレーカーで1日プレーパークを伴走支援。地元の自治体も協力的でした。
また宮城県や仙台市を始めとして行政もプレーパーク活動の後押しをしてくれて、波及効果を感じられました。



子どもの居場所〇〇 子ども食堂

開催日だけでなく、スタッフがいるときはほぼ毎日空いている〇〇。
土日祝、長期休みには子ども食堂の活動も行いました。

開催日数：331日
述べ参加人数：2,410人
視察・見学：32人



助成：宮城県NPO等の絆を活かした震災復興支援事業補助金、子どもサポート基金、キッズドアごはん応援プロジェクト、浅井スクスク基金
実施：プレーワーカーズ

加瀬沼公園プレイパーク

月に3、4日プレーリーダーがいる日として開催しています。
常連も増え、プレイパークを目指して公園に来る子も増えてきました。

開催日数：40回
述べ参加人数：4,293人



主催：宮城県
運営：冒険あそび場ネット・プレーワーカーズ共同事業体
構成団体（冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク/プレーワーカーズ）

プレーカーによる遊び場開催の応援や プレーパーク立ち上げの支援など

行政からの依頼が増えてきました。お祭り、立ち上げ、市民への研修も兼ねて、など依頼の内容も多岐にわたっています。

日付	開催場所	依頼団体	活動名
6月 1日	宮城県名取市	NPO法人子育て応援団うわ	名取市下増田児童センター「プレーパーク」
8月 4日	宮城県松島町	松島町中央公民館	令和6年度「こころ・はぐぐみ隊」事業 夏の冒険シリーズ～木編～
8月17日	岩手県金ケ崎町	金ケ崎町中央生涯教育センター	プレーパーク
8月24日	宮城県松島町	松島町中央公民館	令和6年度「こころ・はぐぐみ隊」事業 夏の冒険シリーズ～水編～
9月 1日	宮城県松島町	松島町中央公民館	令和6年度「こころ・はぐぐみ隊」事業 夏の冒険シリーズ～火編～
9月29日	福島県会津若松市	会津こども劇場	プレーカーで遊ぼう
10月 6日	岩手県奥州市	奥州市常盤地区センター	常盤まつり・キッズイベント
10月12日	岩手県普代村	つちのこ保育園	つちのこフェス
10月13日	宮城県村田町	村田町子育て支援事業	布袋まつり みんな集まれ！プレイパーク
11月 3日	宮城県多賀城市	市民団体 KuuUFuUU	タガジョバアルプレーパーク
12月 7日	福島県大熊町	大熊町ふるさと未来会議	いっしょにつくろうわくわくプレーパーク

天気が良いから学校行かなくても プレーパーク コロコロプレーパーク

名取市内の「十三塚公園」で、学校に行っていない小学生や、乳幼児親子が来やすい時間帯にプレーパークを開催しました。

●天気が良いから学校行かなくてもプレーパーク
11：00～15：00
22回開催

助成：子どもサポート基金

実施：プレーワーカーズ

●コロコロプレーパーク
10：00～14：00
11回開催

なとりむくむく プレーパーク

7月21日(日) 十三塚公園
10月15日(火) 閑上多目的広場
11月 9日(土) 高館河川敷グラウンド

委託：名取市
実施：プレーワーカーズ



仙台市遊び場展開事業 (あそびば仙台)

7月28日(日)、7月29日(月) 深沼海水浴場
8月31日(土)、9月 1日(日) 泉ヶ岳
10月26日(土)、10月27日(日) 榴ヶ岡公園、榴ヶ岡市民センター
12月14日(土)、1月18日(土) 南材小体育館

主催：仙台市
実施：せんだい遊びとまちネットワーク
※構成団体【冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク/都市デザインワークス/プレーワーカーズ】

能登半島地震支援活動

能登半島で外遊びの活動を継続して行いました。
珠洲市、輪島市、能登町を中心に30回開催。

協働・委託：セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
助成：ボラサボ/こども家庭庁
実施：プレーワーカーズ



研修会・シンポジウム実績

6月 8日	東京都	能登半島地震子ども支援報告会～被災地で遊び場づくりの重要性～
1月11日	宮城県仙台市	子育てと運営とプレーリーダーと
2月23日	宮城県名取市	シンポジウム 子どものためにある“感じ”?
3月 9日	宮城県仙台市	能登半島地震子どもの遊び場づくり報告会

主催・実施：プレーワーカーズ



外遊びを通じて子どもと関わる プレーワーカー養成講座

6月30日(日)、7月 9日(火)	みやぎNPOプラザ・第1会議室
7月 7日(日)、7月10日(水)	みやぎNPOプラザ・第2会議室
7月14日(日)、7月15日(祝)	加瀬沼公園プレイパーク
7月28日(日)、7月29日(月)	加瀬沼公園プレイパーク
7月21日(日)	十三塚公園
8月 3日(土)	十三塚公園
8月10日(土)	みやぎNPOプラザ・第1会議室

主催・実施：プレーワーカーズ

参加者：19名



仙台市プレーリーダー育成推進事業

9月 7日・ 8日	宮城県仙台市	夏のプレーリーダー養成講座
1月11日	宮城県仙台市	子育てがもっと楽しくなる！プレイパークとは？
1月25日・26日	宮城県仙台市	冬のプレーリーダー養成講座

主催：仙台市

実施：せんだい遊びとまちネットワーク

※構成団体【冒険あそび場・せんだい・みやぎネットワーク/都市デザインワークス/プレーワーカーズ】



講師派遣実績

日付	開催場所	依頼団体「事業名・テーマなど」
5月27日	宮城県仙台市	令和6年度青少年健全育成県民総ぐるみ運動推進会議 「子ども・若者の居場所づくり支援について」
6月23日	北海道札幌市	日本冒険遊び場づくり協会全国フォーラム2024～いろんな遊び場づくりのヒントが北海道に集結！～
8月16日	岩手県金ヶ崎町	金ヶ崎町中央生涯教育センター 「プレイパーク研修」
9月21日	岡山県岡山市	NPO法人岡山市子どもセンター プレーリーダー養成講座 基礎講座「遊びに関わる大人の役割を学ぼう！」
10月19日	宮城県宮崎市	NPO法人ヒミツキチ 「地域住民による子どもの遊び場づくりと、リスクマネジメント」
10月20日	宮城県宮崎市	NPO法人ヒミツキチ 「遊具づくりWSと体験プレイパーク」
11月 2日	宮城県仙台市	太白区 わくわく外遊びセミナー座学編 「自発的な遊びが生まれる環境づくり」
11月 7日	東京都武蔵野市	NPO法人プレイパークむさしの 職員研修「遊び場のデザインとリスクマネジメント」
11月17日	宮城県仙台市	太白区 わくわく外遊びセミナー実践編 「体験プレイパーク」
11月23日	宮城県石巻市	令和6年度 石巻市子どもの権利講演会 「子どもと共につくる遊び場・居場所づくり」
1月31日	宮城県仙台市	西公園プレイパークの会 子どもの遊び環境デザイン講座 アドバイザー
2月10日	オンライン	NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 プレーリーダーを学ぼう！「子どもの育ちについて」
2月18日	岩手県洋野町	にぎわい創造交流施設 ヒロノット「プレーワーカーとは、プレーワーカーのスキル」
2月20日	岩手県九戸村	九戸村役場保健福祉課「子どもに関する相談・支援事業の取り組みについて」
3月 3日	オンライン	NPO法人日本冒険遊び場づくり協会 プレーリーダーを学ぼう！「子どもとの関わり方」
3月 4日	宮城県石巻市	蛇田・渡波放課後児童クラブ合同研修会 「ふりかえり～リフレクション～」

メディア実績

4月	多賀城市民活動サポートセンターフリーペーパー 「tag 4月号 みんなでつくる自由な遊び場！プレイパーク」
5月	宮城県広報誌「みやぎ県政だより5・6月号」
5月	仙塩・利府の無料タウン誌「SMILE 5月号」
5月11日	読売新聞「宮城でプレイパーク増 泥んこ夢中になれる場」
6月 5日	ラジオ DateFm senndai「Morningb Brush FIVEresearch」
6月13日	河北新報フリーペーパー「河北ウィークリーせんだい 加瀬沼公園プレイパーク」
7月 1日	河北新報夕刊「ふみだすinfo 不登校の子ども支援～名取でプレイパーク～」
9月	宮城県社会福祉協議会広報誌「福祉みやぎ9月号」
2月12日	ラジオ DateFm senndai「Morningb Brush FIVEresearch」

<ラジオ>

なとらじ801 (fm80.1MHz)「タやけなとり」に市民パーソナリティ代表理事 須永力と事務局長 廣川和紀が毎週水曜日に生放送中！全国から視聴できます。ぜひお聴きください。



第10期決算報告書 及び 第11期収支予算書

決算報告書

会計年度	第11期（2024年4月～2025年3月）
------	-----------------------

損益計算書

<収入の部>		第10期決算額	第11期決算額	第12期予算額
内訳	受取会費	84,000	84,000	100,000
	受取寄付金	2,691,343	1,577,453	1,510,000
	受取助成金	10,171,035	18,872,045	16,390,000
	事業収益	9,112,826	9,833,179	6,900,000
	その他収益	21,274	6,735	0
経常収益計		22,080,478	30,373,412	24,900,000
<支出の部>				
内訳	事業費	20,378,344	27,716,947	23,000,000
	（うち人件費）	14,512,757	18,754,300	14,000,000
	管理費	1,114,592	1,403,778	1,900,000
	（うち人件費）	5,544	121,069	1,000,000
経常費用計		21,492,936	29,120,725	24,900,000
当期経常増減額		587,542	1,252,687	0
税引前当期正味財産増減額		587,542	1,252,687	0
当期正味財産増減額		587,542	1,252,687	0
前期繰越正味財産額		5,706,834	6,294,376	7,547,063
次期繰越正味財産額		6,294,376	7,547,063	7,547,063

貸借対照表

<資産の部>		第10期決算額	第11期決算額
内訳	流動資産	7,997,472	9,543,702
	固定資産	2	2
資産合計		7,997,474	9,543,704
<負債の部>			
内訳	流動負債	1,703,098	1,996,641
	固定負債	0	0
負債合計		1,703,098	1,996,641
<正味財産の部>			
内訳	前期正味財産	5,706,834	6,294,376
	当期正味財産増減額	587,542	1,252,687
正味財産合計		6,294,376	7,547,063
負債及び正味財産合計		7,997,474	9,543,704

当年も温かいご支援ありがとうございました。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。



1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
2. 使途等が制約された寄付金の内訳
使途等が制約された寄付金の内訳は以下の通りです。当法人の受取寄付金は1,577,453円ですが、そのうち524,199円は令和6年能登半島地震 遊びを通した緊急子ども支援に使用するものです。したがって、使途の制約されていない受取寄付金は1,053,254円です。

(単位：円)				
内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
使途の制約されていない受取寄付金	0	1,053,254	0	1,053,254
能登半島地震支援への寄付金	389,221	500,900	365,922	524,199
合 計	389,221	1,554,154	365,922	1,577,453

助成金実績

助成金名：令和7年度宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業
助成元：宮城県環境生活部共同参画社会推進課NPO・協働社会推進班
事業名：子ども支援団体・機関の絆力を強化し“ONE TEAM”で県全域の子どもを元気にする取組

助成金名：子どもサポート基金 区分①（2024年度）
助成元：公益財団法人子ども未来支援財団
事業名：東北復興子ども支援事業 課題解決（震災に起因した子どもに関する課題の解決を目指す活動）

助成金名：子どもサポート基金 区分③（2024年度）
助成元：公益財団法人子ども未来支援財団
事業名：職員育成（活動を実施する職員や、事務・管理業務に従事する職員を育成する事業）

助成金名：東日本大震災こども未来基金助成プログラム
助成元：特定非営利活動法人東日本大震災こども未来基金
事業名：子どもの居場所〇〇の運営

助成金名：ボラサポ・令和6年能登半島地震第3回中長期助成事業
助成元：社会福祉法人中央共同募金会
事業名：地域の力をエンパワメントする子どもの遊び場・居場所づくり支援

助成金名：令和6年度NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業（被災したこどもの居場所づくり支援）国庫補助金
助成元：こども家庭庁生育局
事業名：地域の力をエンパワメントする子どもの遊び場・居場所づくり支援

助成金名：厚生労働省「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」
助成元：特定非営利活動法人キッズドア
事業名：ごはん応援プロジェクト事業

助成金名：浅井スクスク基金
助成元：公益財団法人公益推進協会
事業名：子どもの居場所〇〇での子ども食堂

助成金名：みやぎ生協こども食堂エールアクション
助成元：みやぎ生活協同組合
事業名：子どもの居場所〇〇での子ども食堂

助成金名：みやぎ社会貢献助成
助成元：一般財団法人愛知揆一福祉振興会



子どもは誰でも来られる遊び場と居場所づくりを、参加費無料、申込不要で行っています。寄付金などで活動応援をよろしくお願いします。

寄付金

■クレジットカードからの寄付 **Syncable**
はこちら



■ゆうちょ銀行振込
【口座名義】 一般社団法人プレーワーカーズ
【口座番号】 02270-8-129019

■ゆうちょ銀行以外の金融機関
【口座名義】 シヤ) プレーワーカーズ
【金融機関】 ゆうちょ銀行
【支店名】 二二九（二ニキュウ）店
【口座番号】 当座預金：0129019

遺贈寄付

遺言や相続により財産の全部、または一部を贈与することを遺贈寄付といいます。遺贈寄付と聞くと高額な金額を思い浮かべがちですが、金額はお気持ちですので、ご協力いただける範囲で差し支えありません。お気軽にご相談ください。

個人会員（賛助会員）

会員の方へは毎年「活動報告書（プレイフル）」をお送りします。
会費は6,000円／年
年度は4月～3月です。

Syncable



入会はこちら

企業協賛金

プレーワーカーズの理念を理解しご協力いただける応援企業を募集します。プレーカーや居場所への企業名掲載など、相談に応じて特典を用意します。

寄贈

遊び場や居場所で使用する物品を募っています。
例えば、無垢の木材（端材）、新品の遊び道具、電化製品など。
遊び場、居場所にいるスタッフにお声がけください。



プレーワーカーズ理念
子どもが遊び育つ
社会を目指して

一般社団法人プレーワーカーズ 情報誌 PLAY FULL VOL.9 (2024年度 活動報告書)

発行日 : 2024年12月1日
発 行 : 一般社団法人プレーワーカーズ
〒981-1241 宮城県名取市高館熊野堂字飛鳥中3
H P : playworkers.org
MAIL : info@playworkers.org
T E L : 022-397-7507

この報告書は、当団体の自主財源によって制作されています。